

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-540	A-810	21-050 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
<p>Excessive alcohol intake and liver fibrosis are associated with skeletal muscle mass reduction in elderly men: the Wakayama study 男性高齢者における過度のアルコール摂取と肝線維症は骨格筋量減少と関連する：和歌山研究</p>		
執筆者		
Onishi S, Miyai N, Zhang Y, Oka T, Nogami E, Utsumi M, Arita M.		
掲載誌		
Aging Clin Exp Res. 2022 Jan;34(1):185-192. doi: 10.1007/s40520-021-01902-2.		
キーワード		PMID
アルコール摂取量、男性高齢者、一般集団、肝線維症、骨格筋量		34120318
要 旨		
<p>背景・目的：肝機能障害を合併した過度のアルコール摂取は、骨格筋に影響を与えると考えられている。本研究は、男性高齢者における過度なアルコール摂取、肝線維症、および骨格筋量減少との関連について検討することを目的とした。</p> <p>方法：肝疾患の治療歴のない 799 人の和歌山在住の男性高齢者（71±3 歳）を対象とし、横断研究を行った。四肢骨格筋量（ASM）の評価には、生体電気インピーダンス法を用い、身長で標準化した ASM 指数を用いた。肝線維症は、参加者の年齢、AST 値、ALT 値、および血小板数から算出した Fib4 指数≥ 2.67とした。飲酒量は、自記式問診票に基づき、飲酒の種類、飲酒頻度、1 日あたりの飲酒量からエタノール摂取量(g/日)を推定した。非飲酒者、中程度飲酒者 (<20g/日)、過剰飲酒者 (20g/日以上) に分類した。統計解析は多変量解析を用いた。調整因子には年齢、トリグリセリド、HbA1c、アルブミン、喫煙歴、座りがちな行動を用いた。</p> <p>結果：過剰飲酒者の中で、肝線維症のある人はない人より ASM 指数よりも有意に低かった。しかし、非飲酒者と中程度飲酒者では、肝線維症と ASM 指数と有意な関連は認められなかった。重回帰分析の結果、Fib4 指数は、交絡因調整後も ASM 指数と有意に関連した。Fib4 指数と ASM 指数の関連性は、非飲酒者や中程度飲酒者よりも過剰飲酒者の方が顕著であった。</p> <p>結論：男性高齢者において、肝線維症は骨格筋量減少と関連した。肝線維症と過剰なアルコール摂取は筋肉量減少に対して相乗作用がある可能性を示唆した。</p>		